

竹原管内景況調査

3月の景況DIは、製造業は好転、非製造業は悪化

当所では、地域商工業者の景況並びに経済動向等に関する情報の収集・分析を行っています。今号では、令和3年3月に実施しました調査結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

調査概要

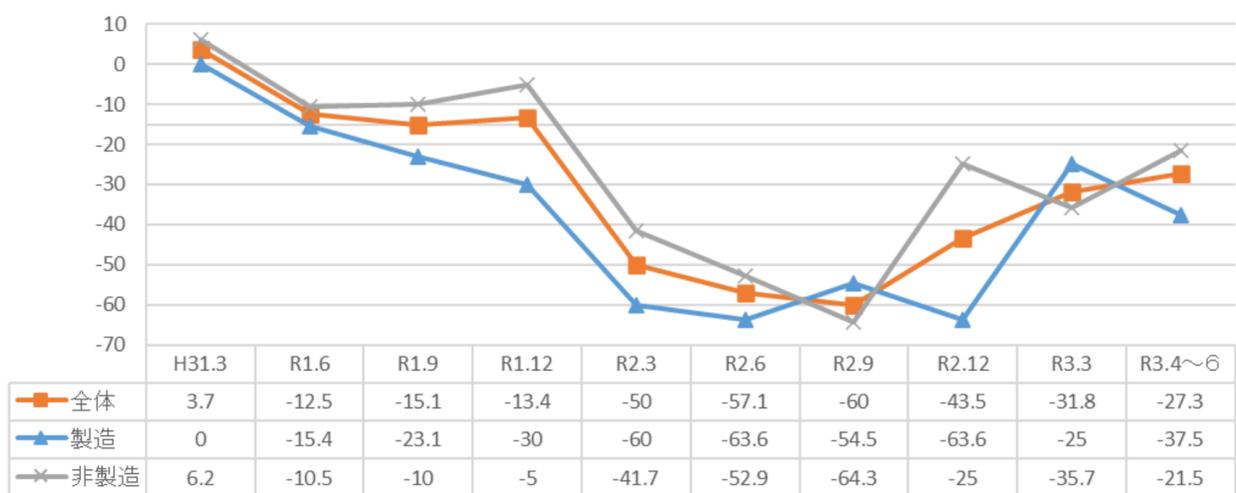
【調査時期】
四半期毎に調査(年4回実施)
【調査期間】
令和3年3月
【調査対象】
当所会員

回答状況

産業	対象事業所	回答数
製造	17	8
建設	6	3
小売	13	4
サービス	17	7
合計	53	22

●全産業におけるDI値

景況DIの推移



3月の景況DI数値は、前回調査と比べて製造業は38.6ポイント好転し、非製造業は10.7ポイント悪化しています。3月と比べて4月～6月までの見通しは、全体では、4.5ポイント好転しています。



※DI(ディフュージョン・インデックス)は、各調査項目についての判断の状況を示します。

ゼロ基準として、プラス値は景気の上向き傾向(「良い」)をあらわす回答の割合が多いことを示し、マイナス値(▲)は景気の下向き傾向(「悪い」)をあらわす回答の割合が多いことを示します。

●景況が好転(悪化)した理由について

◇製造業

- ・客先の設備投資が鈍化。(鉄工所)
- ・昨年3月は、かなりの売上減少した為、前年比では増加見込。4～6月は減少すると思われる。すべてコロナ禍の影響。(酒造)
- ・前年は新型コロナウイルスの影響が出始めた時期だった。今年は、回復しつつあるものの十分ではない。(機械)
- ・コロナの影響はない。むしろ需要が増加した。(農業)

◇小売業

- ・昨年コロナ禍のなか、家中需要、マスクなど売上異常値があった反動の商品があったため。(スーパー)
- ・コロナ禍による衣料品の購買意欲の減少。(衣料品店)

◇サービス業

- ・宿泊部門と飲食部門に影響あり。(飲食業)
- ・新型コロナウイルス感染防止対策の外出自粛で、ご乗車されるお客様が激減している。企業の出張等も減少しているため、空港・新幹線等への長距離ご乗車がほとんどない。観光客のご利用もほとんどない。(タクシー)

●令和3年度の業界動向の見通しについて

◇製造業

- ・全く先行不透明。(鉄工所)
- ・全く見えない。(酒造)
- ・回復に向かう可能性があると思われる。(機械)

◇小売業

- ・この状況が続くと、大変厳しい。(衣料品店)

◇サービス業

- ・来店期間が長くなり、延べ人数の減少、新規集客の難しさがある。(理容業)
- ・現状は、最低限の外出によるタクシー利用と考えられ、何事もなければ横ばい状態かと思われる。(タクシー)

(※アンケート全体から一部抜粋しています。)